

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和6年10月1日（火）午前10時～11時45分

場 所：リサイクルプラザ

出席者：松永会長、田中副会長、豊田監査、明山さん、山本さん、小林（眞）さん、
渡辺（や）さん、大木さん、事務局（山代）

1 報告と振り返り

～岡～

（田中副会長）

- ・東洋大生命科学ゼミの先生と学生さんが5名ほど参加した。里山の生き物を観察したいとのことだった。9/28（土）の根岸台にも参加され、今後も参加の予定。
- ・以前クレームがあった辺りを見たが、特に問題はなかった。
- ・クヌギの実生が出ているエリアはまだ手をつけていない。梅雨と夏の間に笹がすごい量になってしまうので、継続して手入れしたい。笹を取りきるのは難しいので、笹と共生していく。西にクヌギの次世代が出ているので、次回以降そちらへ移動して手入れを行いたい。
- ・北の民家の辺りにケヤキがある。以前、みどり公園課に切る提案をしたが、根があるので切らないと言われた。切らないのであれば、こまめに手入れしてほしいと思う。

～宮戸～

（明山さん）

- ・豪雨により道路に押し流された斜面林の土砂の後始末を行った。みどり公園課から土嚢が50袋ほど支給されたので、設置した。今の所、崩れていない。階段を補修してもまた流される可能性があるから、別の通路を作った方が作業しやすいかもしれない。みどり公園課と相談したい。階段を補修するなら、丸太を置くこともできる。丸太は黒目川のベンチに欲しいという声もあるが、持って行って加工するのは難しいかもしれない。
- ・宮戸の斜面は、畑や雨水管がないからか雨が浸透しにくい。
- ・ヒガンバナが真っ盛りに咲いている。
- ・倉庫前の平らな場所にこんにゃく玉が捨てられていた。放っておいたら育ったので収穫して料理した。残ったのを植えたら芽が出たが、8月には無くなっていたので、誰かが掘って持っていった様子。倉庫前の場所は、畑にするなど活用方法を考えた方がいいかもしれない。

（山本さん）

- ・丸太はうち（わくわく新河岸みどりの会）でも欲しい。朝霞の森にも丸太はあるが、あまりいいものはないので。
- ・土砂崩れは今後もあちこちで出る可能性があるため、防止する方法を考えている。木を植えると伸びてしまっとうしょうもない。植物を植えるか、竹を切って段差にして土留めにするか。皆さんで考えていきたい。

（明山さん）

- ・高島平でも斜面を保護している所があるが、人工的すぎる。あのようになってしまうのは抵抗がある。参考にはなるので、機会があれば見てみてほしい。

～根岸台～

(豊田監査)

- ・ 9月 は 24日 と 28日 に行った。
- ・ 8月 は酷暑のため活動していないので、湿地の 蔦、葛、蔓 で歩けないくらい覆われていた。草刈り機で刈って通路を作った。池の、花ミョウガが植えてある周辺まで蔓など除去した。1回だけでは終わらなかったなので、28日も行った。小人数では終わらないので、協力をお願いしたい。
- ・ ヤブミョウガが実をつけていた。放っておくと増えてしまうので取り払った。本当は根まで取りたい。
- ・ 原木シイタケを今年植えたが、まだ出ていない。2年はかかる。
- ・ 28日に東洋大の先生と生徒が参加し、松永会長が緑地を案内した。楽しそうだった。
- ・ 近隣から、蔦が木に絡まってて見苦しいのでなんとかならないかと相談があった。
- ・ 子どもの声に関するクレームはその後何もないので、沈静化したかと思われる。

(明山さん)

- ・ ナラ枯れで丸裸になっていた斜面に夏草がかなり生えていた。土砂崩れ対策にはなるかもしれないが、アレチウリなど外来種は入れたくないのでなんとかしたい。

2 その他

○環境税について

(山本さん)

- ・ 市に頼み事をしても「予算がない」と言われてやってもらえないことが多い。予算を増やしてほしいが、逆に減っている状況なので難しい。やってほしいこと、物事の優先順位を考え、どう折り合いをつけていくかが大事。環境税の一部が配布され、緑地の維持管理に使える仕組みがあるといい。

(明山さん)

- ・ 環境税は学校の整備に使われている。来年度からの森林環境整備基金については、使い道が決まるのはこれから。

(沢田さん)

- ・ 環境税は森林の面積や人口割で配布されるが、朝霞は森林がないので人口割のみになる。いくら割り振られているのか。

○みどりの基本計画改訂について

(沢田さん)

- ・ 5日に講演会（「朝霞市みどりの基本計画づくりを学ぶ」）がある。みどりの基本計画がどれだけ進んでいるのか知りたい。
- ・ 基本計画は、行政が深く関わっていないのではないかと。市民に決めさせるより、行政が主体になって決めた方がいいと思う。

(山本さん)

- ・ どれだけ進んでいるのか等の実績は毎年発行している冊子でも確認できる。（朝霞の環境）
- ・ みどりの基本計画は、R7から長期的な計画を作ろうとしている。どんなまちづくりにしたいか、意見を集めている。講演会は意見も出せるし、参考になると思う。

(渡辺さん)

- ・市が主体になりすぎても、市民の意見が反映されない面もある。市民が意見を出せるようにすることと、市民も意見に責任を持つことが大切。
- ・市民は現場を見てもらいたい。どんなことをやっているか、理解してもらうことが必要だと思う。(市への要望)
- ・講演会に出て話を聞くのもいい活動になる。自分たちの活動しか見えなくなってしまうより、他の活動を知るといいと思う。情報交換にもなる。

(松永会長)

- ・みどりの基本計画について、この場で話しても時間がなくて煮詰まらない。講演に出て話を聞いて意見を出したり、パブリックコメントを出す方がいい。
- ・宮戸貸農園の陳情書について、昨日(9月30日)市へ提出した。陳情書では「耕作地」という表現にした。みどりの基本計画では、そこまで細かい表現では書かれていない。細かく書いてあると危機意識を持てるのではないか。

会員の皆様へ

- ・みどりの基本計画改訂について意見を提出するため、次回運営会議までに各自が基本計画を読んで意見を述べてください。会議に参加できず意見がある方は、松永会長までメールで意見の提出をお願いします。

※みどりの基本計画は公民館や図書館、市のホームページ等で閲覧できます。

次回運営会議は11月5日(火) 10:00から リサイクルプラザにて